

新潟市医師会

第143回 在宅医療講座

7月10日 (水) 2024年

午後7時15分から ※開場6時45分
(閉会：午後8時30分)

講演



地域で医学生をどう教育するのか —在宅医療現場の可能性—

新潟大学医学部医学科
医学教育学分野・教授

岡崎史子 先生

会場：新潟ユニゾンプラザ4階 大研修室
(新潟市中央区上所2-2-2 TEL：025-281-5511)

主催：一般社団法人新潟市医師会 (担当：阿部理事)

定員：先着100名
ご参加いただく場合は、メールでお申込みください。
裏面の「申込方法」をご覧ください

入場
無料

医療ニーズのほとんどは「地域」にあるということが調査によって知られている。しかし、医学部教育は依然として特定機能病院である大学病院で主に行われている。新潟大学医学部では現在、在宅医療の実習は実施しておらず、地域での実習も十分ではない。

他大学では地域での医療ニーズに触れる介護、福祉系を含めた実習が多く行われており、医学生は新鮮な驚きをもって利用者、スタッフと関わっている例がある。私が関わっていた1週間の訪問看護師同行実習での医学生の学びは大変充実したものであり、医師に同行する訪問診療では聞き出せない利用者の本音に触れることも貴重な経験となっていた。在宅医療現場は医学生にとって学びの宝庫であり、本学でも令和8年度より医学科3年生に訪問看護師同行実習を導入することが決まっている。

本講演では最近の医学教育の動向を踏まえつつ、在宅医療現場で医師の卵にどのような学びを提供できるのか、その可能性を多職種の皆様と是非共に考えてみたい。

この講座は在宅医療は未経験という先生がたにもお勧めの内容です。

新潟県医師会生涯教育講座認定1.0単位 カリキュラム内容：81.「終末期のケア」